



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表：宮本 純子

☆ハヌカの奇跡☆



(中山泰秀 内閣府 防衛副大臣)

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。いつもエターナルを支えてくださり心から感謝致します。2021年も神様の御心に従ってユダヤ人伝道に励んでまいりますので、よろしくお願い致します。

昨年12月16日、ハバッド・ジャパン主催、毎年恒例の東京タワーの麓で「ハヌカ」の祭りを祝う点灯式が開催されました。

コロナ禍なので、感染予防対策を万全にし、例年とは違う雰囲気の中、式典も時間短縮でしたが、多くの在日ユダヤ人と共にお祝いしました。

ヤツファ・ベン・アリ駐日イスラエル大使、中山泰秀内閣府防衛副大臣、長岡寛介外務省中東アフリカ局審議官、ラビたちとお会いし、特別なひと時を過ごすことができました。



(ヤツファ・ベン・アリ駐日イスラエル大使)

ハヌカは、古代ユダヤ人が異教徒からエルサレム神殿を奪回した際、神殿の燭台に火をとますための油が1日分しか残ってなかったにもかかわらず8日間燃え続けたという奇跡を記念しており、「光の祭り」とも呼ばれます。ハヌカの祭の間は毎夕、8日間にわたり、燃えた火を記念して燭台（ハヌキヤ）にロウソクを立て、火を灯します。

2020年は、世界中がコロナにより恐怖と混乱の暗闇に包まれましたが、全知全能の神様だけが、いつコロナが終息するかをご存知です。



「光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」(ヨハネ 1:5)

「すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のくんに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」(ヨハネ 1:9~12)



(東京タワーとハヌキヤ)

イエス様による救いの光が、ユダヤ人を照らし、全世界のすべての人を照らしますように。コロナ禍の暗闇だからこそ救いの光が必要なのです。

今もメシアが来るのを待ち望んでいるユダヤ人たちが、2千年前に十字架上で自分たちが突き刺した者、イエス様こそがメシアであることを信じ受け入れますよう、どうかお祈りをよろしくお願い致します。

☆「聖地画展 2021」開催のご案内☆



エターナル・ラブ・イスラエル
聖地画展 2021

宮本 純子 個展 入場無料

2021年3月24日(水)～28日(日) 10:00～17:00

横浜市長区民文化センター かわりアール 1F

みどりアートパーク B1ギャラリー

〒226-0027 神奈川県横浜市中区磯子区磯子4-1-1 TEL:045-936-2641

～本展は、新型コロナウイルス感染症の発生による影響を受け、開催が延期となりました。～

～開催中止の決定は、主催者側が責任を負います。～

～本展は、新型コロナウイルス感染症の発生による影響を受け、開催が延期となりました。～

～開催中止の決定は、主催者側が責任を負います。～

エターナル・ラブ・イスラエルには、アート・ミニストリーの働きがあります。アート・ミニストリーでは、絵・音楽・ダンスなどの美術や芸術を通して伝道をしています。このようなアートには、国境や人種を越えて伝える力があります。

昨年10月に開催した「聖地画展」に引き続き、今年は「聖地画展 2021 宮本純子個展」を3月24日から28日にみどりアートパークにて開催します。

私は、2018年秋に音楽と美術、芸術を愛する相原さんご家族とお会いし、「アートクラフツ展」をはじめ、「キャットミックス展」「兄弟鉄道あーと展」などの展覧会や「秋薔薇の薫る夕べに」「猫んちえると」などのコンサートも多数開催してきました。

昨年6月、エターナルで企画していた「シャローム・コンサート」は、相原さんご夫妻がご出演予定でしたが、コロナのために会場が閉鎖となり、中止となりました。相原さん一家との出会いは、神様が与えてくださった素晴らしい出会いです。神様の働きをしていく中で、神様はいつも助けて下さる方々を与えて下さいます。神様に心から感謝致します。

今回は、「相原陽輝個展」と「星くずくらぶ展」との共同開催です。「星くずくらぶ展」の高木共子さん(シティービジョン・グローリーチャーチ教会員)との出会いも主の導きです。コロナ禍であり、遠方でお越しになれない方もおられるため、会場の様子を、YouTube とVR動画で配信します。ホームページからも見られるようにしますので、ぜひご覧ください。

会場では、絵の説明をしながら、伝道の良い機会をつくり、一人一人との出会いを大切にしたいと思います。皆さま、ぜひいらしてください。



☆「星くずくらぶ」の紹介 高木共子☆

上原住子・高木共子・高木静江・HANAによる、毎年恒例の絵画展、「星くずくらぶ展」。今年は秋の杉田劇場の他、みどりアートパークにて開催！YouTube でも動画配信予定！どうぞ高覧くださいませ。

<https://www.youtube.com/channel/UCUWuIOrVhv2sQLdT-lqxW-g>

「私たちは見えるものではなく、見えないものに目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くからです。」新約聖書 コリント人への手紙第2 4章 18節

2018年の北海道胆振東部地震。作品を描く前から好きだった北海道が困窮する中で、私のような者が北海道を描き続けているのか。異なるテーマを追いかけるほうがいいのではないかと自問しました。そのようなとき、北海道の住民と思われる方々がSNSに満天の星の画像をあげていました。

「明るいが見えないものがある」(そうかと言って暗いほうがいいと言うものではありません)

「しかし、不自由なく明るいところで生活できるのはただ感謝なこと」

写真から、多くのことに気づき、「見えなかったもの」「気づかなかったこと」と題した作品を発表しました。

また、2020年はコロナ禍で、不自由な生活を余儀なくされました。クリスチャンたちは自宅でインターネット礼拝し、ビデオ通話しました。作品を発表する機会を失ったアーティストたちは、作品づくりに励みました。その中で、あらためて、人とかかわることの大切さ、状況に揺さぶられない信仰の大切さを知ったのです。

個人的には、日本の、そして世界の復興へ思いをこめて、「見えなかったもの」「いつかきっと」をテーマに、今後も描いていくつもりです。「星くずくらぶ」の描くモチーフは、いつか見た美しい風景、おいしい食べ物、愛する家族や友人と、とても身近です。華やかなものではないかもしれませんが、共感できるものが多く、どこか心いやされるものです。

毎年、横浜市磯子区民文化センター「杉田劇場」において展覧会を開いております。コロナ禍の昨年は、メンバーの所属する美術会主催の「太平洋神奈川同人展」に合流。そして今年は、宮本純子さんの個展と相原陽輝さんの個展との同時開催が叶いましたことを、心から感謝いたします。秋には杉田劇場における星くずくらぶ展も再開させる予定です。どうぞお楽しみにお待ちくださいませ。

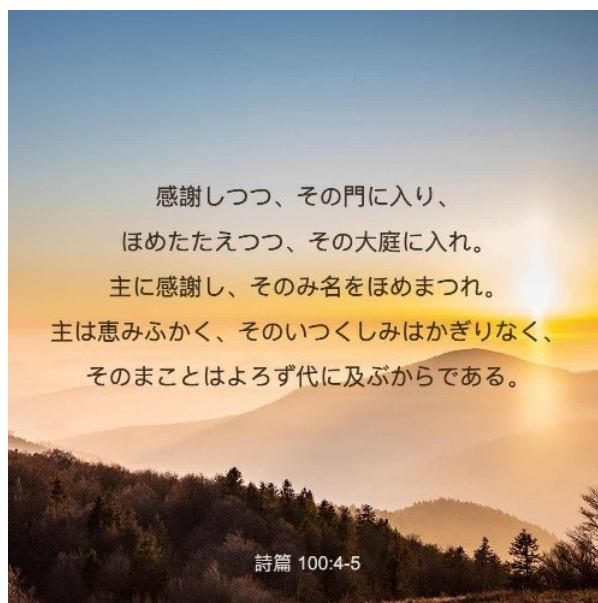
☆ユダヤ音楽のタベ☆



2月11日、ハバッド東京にて「ユダヤ音楽のタベ」が開催されました。緊急事態宣言が発令されて、延期されていましたが、コロナ感染予防の対策を取り、在日ユダヤ人と共に、ユダヤ音楽を楽しむことが出来ました。コロナ禍なので、在日ユダヤ人たちもなかなか集まる事が出来ない状況ですので、このジャズコンサートをとても楽しみにしていました。冬の寒さの中、愛のあふれるユダヤ音楽を通して心温まる時を過ごしました。

☆2020年1月1日～12月31日 会計報告☆

(収入)		(支出)	
前年繰越	1,253,193	外部献金	28,998
献金	597,652	印刷費	39,907
		通信費	96,500
		外注費	47,052
		諸会費	244,500
		事務用品費	38,023
		郵便支払手数料	14,516
		事務所費	28,480
		広告費	37,652
		運搬費	8,000
		会場費	4,500
		次年繰越	1,262,717
合計	1,850,845	合計	1,850,845



感謝しつつ、その門に入り、
ほめたたえつつ、その大庭に入れ。
主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。
主は恵みふかく、そのいつくしみはかぎりなく、
そのまことはよるず代に及ぶからである。

詩篇 100:4-5

☆愛する皆さま。いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのために尊い献金をくださりまして、本当にありがとうございます。心から感謝いたします。エターナルの働きは、皆さまからの尊い献金によって支えられ、在日ユダヤ人への支援にも用いさせて頂いています。日本で、ひとりでも多くのユダヤ人がイエス様を信じて救われますようにこれからも活動してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

イスラエルのワクチン接種のニュースが日本でも報道されていますが、今、イスラエルはハイテクおよびIT産業が強い国です。終末が近づくにつれ、今後、更にイスラエルが世界から注目されるようになると思います。どうかイスラエルの救いのためにお祈りをよろしくお願い致します。

愛する皆さまの上に、神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- ☆ 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。
- ☆ 3月23日に行われるイスラエルの総選挙のために、イスラエルの国政、国内情勢のためにお祈りください。
- ☆ 日本の政治家たちと国政のために。
- ☆ 世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進める事が出来ますように。

- ☆ イスラエルと日本との国交が更に深まりますように。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く終息しますように。コロナ禍の中で、イエス様を信じて救われる魂が世界中で多く起こされますように。神様のご介入と助けを切に祈り求めます。
- ☆ 「聖地画展 2021」が祝福され、コロナ禍でも伝道する機会が与えられますように。
- ☆ 世界中のユダヤ人と日本人に福音が伝えられ、イエス様を信じて救われますように。
- ☆ イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされますように。
- ☆ 在日ユダヤ人や訪日ユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ますように用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者たちが起こされますように。
- ☆ 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆ユダヤ新年5781年 春のユダヤの祭り☆



☆3月27日~4月3日 過越しの祭り(ハグ・ハ・ペサッハ)

出エジプト記の祭り。イスラエルの民がモーセに率いられて出エジプトをしたことを記念。お祭りの期間中、イースト菌の入ったパンは禁止され、種なしパンを食する。

☆4月8日 ホロコースト・メモリアル・デー

ホロコースト記念日。ナチスによるユダヤ人大虐殺を追悼する日。

☆4月14日 戦没者追悼記念日 メモリアル・デー

☆4月15日 独立記念日(ヨム・ハ・アツマウト)

1948年のイスラエル建国を祝い、独立の苦勞と喜びを分かち合う。

☆5月10日 エルサレム・デー

1967年の6日間戦争(第三次中東戦争)で、イスラエルがエルサレムを攻略し統合したことを記念。

☆5月16日~17日 シャブオット(五旬節・七週祭)

過越しの祭から七週目にあたり、イスラエルで最初の大麥の収穫を祝ったことに由来。モーセがトーラーを授かった日とされる。

2021年3月 春号発行(季刊誌)